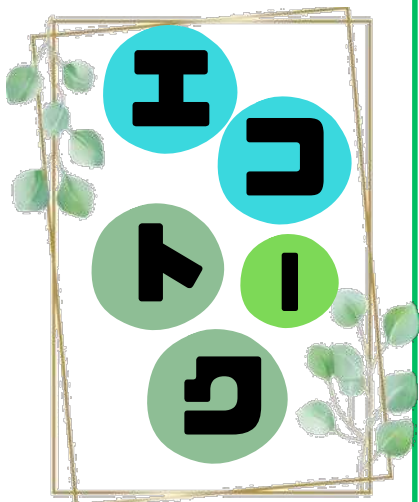


宇美町



(2025年広報2月号)



1年のうち、一番寒い時期の大寒かを過ぎましたが、宇美町にお住いの皆さんいかがお過ごしですか？

毎年、『年間平均気温が過去最高であった』と国連や各国から発表され、地球規模での温暖化防止策が提案されていても、気温上昇は止まる傾向がみられません。気温上昇による気候変動、化学薬品やプラスチックなどの環境汚染と生物多様性の喪失。これらを合わせたトリプル・プラネタリー・クライシス問題(※)が深刻となり、国際的な意識改革のため17項目の目標が示され、SDGs(持続可能な開発目標)として世界中に広がりを見せています。

グリーンベルトという植林活動を展開して環境問題関連で初めてノーベル平和賞を受賞されたケニア出身の『ワンガリ・マタイ』さんは「地球で生活する人たちのために持続可能な社会を将来世代に残そう。」との思いで行動されていました。

来日された折、日本文化に触れられ『もったいない』の意味を知り

「世界中に広めよう！」と風呂敷を実際に使われて、講演会でも

『MOTTAINAI』について熱く語られていました。

今私たちは「もったいない」の意味をもう一度考えるべきではないかと思っています。私たち一人一人は微力ではあっても無力ではありません！今月には宇美町地球温暖化対策実行計画協議会が開催されますが行政任せだけではなく宇美町に住む私たち一人ひとりの意識改革が必要です。

※トリプル・プラネタリー・クライシス (the triple planetary crisis) とは、「気候変動」「自然・生物多様性喪失」「汚染」の3つの地球危機のこと。



文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆